

平成26年第17回

仙北市教育委員会定例会会議録

平成26年12月25日

仙北市教育委員会

平成26年第17回仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成26年12月25日(木) 午後1時

2 場 所 角館庁舎 西側庁舎2階 第4会議室

3 出席委員

委員長	安部 哲男
委員長職務代理者	河原田 修
委員	佐久間健一
委員	坂本 佐穂
教育長	熊谷 徹

4 出席した事務局職員

教育部長	羽川 茂幸
教育次長兼教育指導課長	田口桂一郎
教育次長兼教育総務課長	畠山 靖
生涯学習課長	成田 祐子
スポーツ振興課長	田口 幸栄
文化財課長	小松 誠一
教育指導課参事	齋藤 栄子
教育指導課参事兼北浦教育文化研究所長	浦山英一郎
教育指導課参事兼田沢湖学校給食センター所長	稲田 正之
教育指導課参事兼角館学校給食センター所長	千葉 幸仁
教育指導課参事兼西木学校給食センター所長	芳賀 京子
生涯学習課参事兼田沢湖公民館長	佐々木幸美
生涯学習課参事兼角館公民館長	草薙 正勝
生涯学習課参事兼西木公民館長	武藤真利子
生涯学習課参事兼学習資料館・イベント交流館長	鈴木 孝昭
生涯学習課参事兼市民会館・田沢湖図書館長	藤原 眞栄
文化財課参事	中村 和彦
文化財課参事兼角館町平福記念美術館長	長松谷 光

5 議事

(1) 議案審議

議案第32号 平成27年度仙北市一般会計の教育費について

議案第33号 仙北市文化財指定について

(2) 報告事項

報告第44号 区域外就学の承認について

報告第45号 仙北市就学指定校変更の許可について

報告第46号 仙北市教育委員会交際費の支出基準制定について

## 6 審議の経過及び結果

(安部委員長)

ただ今から平成26年第17回仙北市教育委員会12月定例会を開催いたします。

それでは、次第により会議を進めさせていただきます。書記には高倉参事、栗原主査を任命いたします。議事録署名は、河原田委員、熊谷教育長にお願いいたします。前回会議録の承認については、会議終了後にお願いいたします。

次に次第4、委員長挨拶ということになっておりますので、私から挨拶をさせていただきます。過日の県の発表によりますと、国文祭を見に来てくださった方が、100万人を超え大盛況で大変うれしいニュースが伝わっております。仙北市でもたくさんの行事をやっていただきまして、地域文化の掘り起こし、発見、伝統に深いかかわりを持つ私達には、大きな成果を上げることができたと思っております。国文祭の職員は元よりオール、教育委員会体制で様々な行事、企画に携わっていただきまして、改めて皆さんにお礼と敬意を申し上げます。一番の成果は、私達市民がこの活動を通して仙北市の良さを確認したこと、自分達の地域に誇りと自信を持つことができたということであったと思っております。これからも引き続き国民文化祭が、一過性のものではなく教育委員会が斡旋して地域の文化の発展継承に努めていただきたいと思います。

本日の教育委員会についてであります。27年度の一般会計の教育予算の審議が中心になる訳で、27年度の教育委員会の在り方、方向性を決める大事な会議であります。予算があるからやる、やらないという訳ではありませんが、予算化されれば事業の進行がより充実したものになります。本日出席した委員の皆さん、参与の皆さんにも十分に納得した形で審議ができると思っておりますので、そういう会議にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

次に5の教育長の事務報告についてお願いします。

(熊谷教育長)

それでは、12月の教育委員会事務報告をさせていただきます。

11月29日、児童生徒県南美術展出品作品審査会、秋大、佐々木名誉教授をお迎えして審査を行っております。12月8日から9日にかけて一般質問でございました。11日から12日は各常任委員会で、教育委員会関係は、12日の午前中でした。16日、予算常任委員会でございました。17日、仙北出張所長各市町村等面談で、私と田口次長が出席いたしました。19日、本会議の最終日でした。

今後の予定であります。27日、角館高校の甲子園出場の報告会でございます。1月6日、仙北市消防出初式でございます。25日、児童生徒県南美術展表彰式でございます。以上であります。

(熊谷教育長が、上記内容等について、資料に基づき報告する。)

(安部委員長)

教育長の事務報告が終わりました。ご質問はございませんか。

(坂本委員)

児童生徒県南美術展についてお伺いします。審査員の方々はどういった方々でしょうか。  
(長松谷平福記念美術館長)

教育長からお話がありましたが、佐々木良三審査委員長、美術関係の教諭で今退職なされた方で秋田市、美郷町から1人ずつです。後は教育長と私の5人です。

(坂本委員)

今年ではありませんが、アニメとかインターネットで配信されているものを模倣した作品が出ていたのを見たことがありまして、それが入選していました。もしかしたら年配の方々は気づかなかったのかもしれないと思ひまして、審査員の中に少し若い方を入れるのも検討いただきたいと思います。

(熊谷教育長)

アニメがそのままですか。

(坂本委員)

いえ、これは恐らく模倣したものだと想像できる作品が、特賞ではありませんでしたが入賞していました。違うと言えば違うかもしれませんが。

(熊谷教育長)

佐々木良三先生は、秋田県の児童絵画の権威です。あと青池恒城先生は、大曲仙北造形研の会長です。どちらもご指摘の通り70歳以上です。ほかの小原靖さんも、前大曲仙北造形研の会長です。

(坂本委員)

デジタルな情報が入っている人もいたら、もっと良いのかなと思ひまして。

(安部委員長)

それでは、来年の課題ということでお願いいたします。

ほかにご質問はございませんか。

(佐久間委員)

議会の方で、教育委員会関係のご質問等がありましたらお知らせください。

(羽川部長)

一般質問は今回3人からありました。小田嶋忠議員、小林幸悦議員、稲田修議員です。

小田嶋忠議員からは、伝建保存地区の整備と景観保全ということで、昭和51年に5市町村7地区が国の伝統的建造物群に選定されてから38年が経過している。その間、わが角館も地域住民等の理解と協力を得ながら、修理・修景・復元事業を年次計画で進められてきている。昭和53年度の保存計画に示された弘道書院の復元計画が、ようやく昨年から事業実施に向けての試掘が行われている。一つ目は、今後の発掘、復元の見通しについて。二つ目は、完成後の全体的な利活用、整備内容について、現在構想していることがあったら伺いたいという質問でした。答弁内容としては、一つ目は、今後の発掘、復元の見通しについてですが、角館郷校「弘道書院」復元に向けた取り組みなどの状況について説明しております。平成22年度に、歴史的建造物保存・活用が専門であり、弘道書院研究者の山形大学の永井康雄教授から「弘道書院」の史料調査や復元図案をまとめた基本構想を作成していただいた。翌年度には、高橋雄七会長を始めとして大学教授、県文化財保護協会会員、地元委員など8人による復元検討委員会を設立し、2カ年に渡り基本構想の検討を行ってきた。これらを受

け、昨年と今年は、史料の平面図と町割り絵図、現状図を照らしながら施設があった遺構の特定につなげるため、数箇所を試験抗調査を行いました。結果としては弘道書院の遺構・遺物に結びつける発見はありませんでした。しかし、明治初めの旧角館小学校建設でそれ以前の建物跡が破壊されている訳ではなく、一部残っている可能性の箇所を来年度の掘削・調査の最終年度と位置付けて行いと考えています。二つ目は、完成後の全体的な利活用、整備内容については、弘道書院があった場所は、岩橋家向かいの市有地の一角で、1,793年（寛政5年）、佐竹北家13代目当主の佐竹義躬（さたけ よしみ）の時代に開設された秋田藩の藩校「明道館」（後に明德館と改称）の下部機関として、藩士子弟などの教育の施設と使われたことから、地元の小中高生が先人に倣って歴史や道徳を学ぶ場とすることを主眼におきながら、教育旅行生や観光客にも親しまれる複合施設の建設を望んでいるところでは、委員の一致した意見として聞いている。事業推進に当たっては、実施計画の見直しを含め、単に建物の復元をするだけではなく、周りの敷地などをどのように利活用につなげていくかなど多くの課題があり問題の解決には至っておりません。この伝建地区を後世に継承していくためにも、角館の町並みを守る会や地域住民、関係機関等からのご理解とご協力をいただきながら、伝建群保存計画に基づき確実に進めていきたいと考えています。というような答弁をしております。小林幸悦議員、稲田 修議員は、二人とも100キロマラソンについての質問でございます。

小林幸悦議員からは、100キロチャレンジマラソン大会について、100キロチャレンジマラソン大会は、来年25回目の開催を予定しているが、それ以降については、経費不足、ボランティア不足等の理由から、25回大会を最後の大会にしたい旨を大会実行委員会から県の方にも伝えたところ、県からは引き続き実施するよう要請され、最終判断はまだしていないようだが、本市及び北秋田市、上小阿仁村と大会実行委員会で、今後の対応等の協議はしているのかという質問でした。

答弁内容としては、秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソンは、地域を活性化するために、内陸線沿線の若者達によって企画立案され、秋田県の補助事業を活用して、1989年（平成元年）に第1回大会が開催され、途中一時中止の時期もありましたが、平成20年の大会から再開され現在に至っています。今年の24回大会は、仙北市120万円、北秋田市300万円、上小阿仁村10万円の補助金と、選手参加料2,276万円等を合わせた、2,845万円の予算で行われました。100キロの部は、仙北市角館交流センター前を午前4時30分に、50キロの部は、北秋田市阿仁農村環境改善センター前を10時30分にスタートします。体制としては、北秋田市交流センター内に置かれた実行委員会の事務局を中心としながら、各地区のボランティア、7地区実行委員会が実務を担っています。仙北市内では、角館・田沢湖地区と西木地区の体育協会員や沿線町内会などの皆さんが、角館交流センターでの前夜祭並びに100キロの部のスタート関連、西木地域のマラソンコースである105号線沿線で、ランナーへ食べ物等を提供する7箇所のエードステーション、約70カ所のコース保安箇所、ランナーの安全な走行など様々な形で協力しています。昨年実行委員会では、これまで中心的な役割を果たしてきた事務局長の体調不良などの理由から、事業の継続について難しいと判断し、来年開催する第25回大会を最後の大会にしたいと秋田県に申し入れしています。これを受けて今年の6月から仙北市と秋田県や北秋田市と共に

大会実行委員会の事務局と、大会の継続に向けて問題点などをお聞きしています。

事務局からは、①予算については、交通警備の関係から大会への参加者数の上限が定められており、補助金や協賛金が現状維持の状態であり、消費税の増税や経費の増加で苦慮していること。②これまで中心的な役割を果たしてきた事務局長が体調を崩し、代わりとなる人が見つからないこと。③各地域のボランティアスタッフが高齢化しており、協力いただける人員が不足してきた。などのお話を伺っています。こうしたことから、中心的な役割を担う新規の事務局長の人選や、各地域における分担の方法等について検討をはじめています。地域の方々の熱い思いからスタートした、この100キロマラソンが継続できるよう、仙北市も秋田県や北秋田市、各地域体育協会とともに取り組みたいと考えています。というような答弁をしております。

稲田修議員からは、同じ100キロマラソンですが、「心の絆 受け継がれるか100キロチャレンジマラソンについて」という項目だけの質問でありました。

答弁内容としては、「秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン」については、平成元年の第1回大会が68人で開催されてから、一時中断を挟み、今年は第24回を数えました。近年はランナーの安全確保の面から、1,700人を定員とするほど盛況となり、地域の活性化を目指して取り組まれてきた数多くの皆様のこれまでのご努力に感謝申し上げます。仙北市内だけでも、約480名の地元ボランティアの皆様の献身的なご協力のおかげもあって、選手から高い評価をいただいていると伺っている。また、競技の内容は、テレビにて放映され、仙北市の自然の情景が数多くの視聴者に発信されている。仙北市としては、当市を広く宣伝できる大会でもあることから、秋田県と北秋田市や大会事務局などと協議し、仙北市体育協会や地域の皆様のご協力をいただきながら継続したいと考えています。というような答弁をしております。

また、実行委員長を門脇市長にできないかという質問もありましたが、市長からは、実行委員長は、出来るだけ受けないようにしていると答弁をしております。大会は継続したいと答弁をしております。

補正予算の予算委員会での質疑はありませんでした。

常任委員会での主な質疑は、教育指導書の購入費、スクールバス等の関係でした。

総務文教常任委員会協議会（12日の常任委員会終了後）は、教育委員会は国民文化祭の入込数等の説明をさせていただきます。

今議会の焦点としては、①角館総合病院の改築関係、②庁舎整備関係、③企業誘致を予定している司食品工業の関係、④バイオマスエネルギーセンターの廃止、司食品の土地の追加取得議案は否決、関連予算が修正されています。

(佐久間委員)

前回スポーツ振興課を、教育委員会から一切市長部局に移管するというのを、一方的に話をされましたが、その後の経過はどうなっていますか。

(熊谷教育長)

その件に関しましては、担当しているのは総務課の方であります。

(羽川部長)

12日に総務文教の方に、この前臨時教育委員会で資料をお渡ししましたが、あれを議会

の方にお示しして協議が行われております。委員会の意見としては、観光を結び付けた方が良いのではないかという意見がありましたけれども、市の方向としては、スポーツ振興課としては、平成27年度から総務部の方に移管する方向で進んでおります。中央公民館につきましては、構想としては、庁舎整備の説明会等で、あるいは議会の市政報告で市長もお話をしていますが、角館病院跡地に庁舎が建設されると決まった後でなければ、動き出さないと考えております。この前の市長のお話では、西木地区に生涯学習、農山村振興体験を重点に中央公民館や農山村体験交流推進室を整備するというお話があります。いずれ角館病院の入札が年明けに行われますのでそれが終わって、庁舎の位置が決まった後に具体的なことが進むだろうと思われまます。庁舎は平成31年の建設を目指しておりますので、その近く、29年、30年には具体的な形が見えてくるだろうと思われまます。

(熊谷教育長)

佐久間委員がおっしゃることは、市長の方にお話をしております。総務部の方には、教育委員会はこのような心配をしています。ということは報告をしています。議員の皆様からは、そういうお話は出ませんでした。むしろ議員の皆様は、部長がお話をしたように、観光とスポーツをやるべきではないかという意見の方が強かったです。

(安部委員長)

私から、提言をしたいと思ひます。今部長から話が出た中央公民館云々というのは、庁舎の移動とか一体化とかということと関係があるので、今のところはという話がありました。私は、それはそれとして、中央公民館構想というのは、社会教育の中期構想の中にも確か載っておりますので、今は教育委員会独自の問題だと思ひます。市の動向とは別に、私達は中期構想実現のために、中央公民館構想を今後どうしていくかということ、教育委員と皆さんとで考えを出し合っていくべきことではないかなと思ひますので、そのように考えていただければと思ひます。

(羽川部長)

この後、課長等会議で、組織機構の関係を協議したいと思ひています。中央公民館構想については、当初教育委員会でも考えていましたが、西木庁舎に行くという考えではなく、一環として三つの公民館をまとめるという話をしていました。いずれ28年度に向けて、そういう協議をさせていただきたいと思ひます。

(安部委員長)

ほかにご質問はありませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

では、教育長の事務報告を承認することにいたします。

それでは、次第6の議事の議案審議に入ります。

議案第32号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(畠山次長兼教育総務課長)

議案第32号平成27年度一般会計の教育費について説明します。各課の資料がございますので、概略につきましてポイントを各機関から説明をしていただきます。

歳入は、小中学校施設環境改善交付金。歳出は教育委員会費、事務局費、車両維持管理費、

学校林保育事業費、角館高等学校定時制課程教育振興会補助金、スクールバス管理運営費、小学校一般管理費、小学校維持修繕費、小学校諸工事費、小学校施設天井等落下防止対策事業費、中学校一般管理費、中学校維持修繕費、中学校諸工事費、中学校施設天井等落下防止対策事業費、幼稚園一般管理費、幼稚園諸工事費の資料説明。

(田口次長兼教育指導課長)

ページが5ページに渡りますので、新規事業を中心に説明いたします。

{教育指導課}

歳入、学力定着に係る調査研究事業費委託金。歳出、就学支援管理システム運用事業費、奨学資金システム運用事業費の資料説明。

{北浦教育文化研究所}

歳出、早期からの教育相談体制構築事業費、情報教育支援員派遣事業の資料説明。

{給食センター}

給食センター管理運営費の資料説明。

(稲田田沢湖学校給食センター長)

歳入、学校給食収入（現年度分、滞納繰越分）。歳出、田沢湖学校給食センター管理運営費、車両維持管理費の資料説明。

(千葉角館学校給食センター長)

歳入、学校給食収入（現年度分、滞納繰越分）。歳出、西木学校給食センター管理運営費の資料説明。

(芳賀西木学校給食センター長)

歳入、学校給食収入（現年度分、滞納繰越分）。歳出、西木学校給食センター管理運営費の資料説明。

(成田生涯学習課長)

歳入、学校支援地域本部事業費補助金。歳出、第3回戸沢サミットin仙北実行委員会補助金、総合文化祭補助金、仙北市短歌大会開催費補助金の資料説明。

(草薙角館公民館長)

歳出、角館公民館管理運営費、角館公民館活動推進費、武家屋敷小野崎家管理運営費の資料説明。

(佐々木田沢湖公民館長)

歳出、田沢湖公民館管理運営費、田沢湖公民館活動推進費、生保内節盆踊り開催費補助金の資料説明。

(武藤西木公民館長)

西木公民館管理運営費の資料説明。

(藤原市民会館兼田沢湖図書館長)

{市民会館}

歳出、市民会館総合調査費、市民会館施設整備事業費、生保内節全国大会実行委員会負担金の資料説明。

{田沢湖図書館}

歳出、図書館安心・安全快適環境づくり事業費、ブックディテクションシステム導入事業



費の資料説明。

(鈴木学習資料館・イベント交流館長)

歳出、イベント交流館展示費、角館図書館講演会50周年記念誌出版補助金の資料説明。

(田口スポーツ振興課長)

歳出、田沢湖マラソン大会負担金、秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン大会補助金、総合型地域スポーツクラブ事業実施補助金、FISモーグルワールドカップ開催事業費補助金、市町村対抗駅伝ふるさと秋田ラン!仙北市実行委員会補助金、2016フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会負担金、仙北市長杯第10回記念スポーツ講演会並びに少年野球教室補助金、市民体育館管理運営費、玉川河川公園管理運営費の資料説明。

(小松文化財課長)

弘道書院復元事業費、角館お祭り保存会補助金、田沢湖郷土史料館管理運営費の資料説明。

(長松谷平福記念美術館長)

歳入、平福記念美術館観覧料、美術作品等購入基金。歳出、管理運営費、常設・企画展示費、児童生徒県南美術展開催費、平福記念美術館屋根改修工事費、平福記念美術館屋冷温水発生機更新事業費、資料説明。

(安部委員長)

以上、一般会計教育費についての説明が終わりました。次に審議に入りますが、全体的なことでは何かご質問ございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

なければ、各個々の予算についての質疑といたします。一つずつやっていきます。始めに、教育総務課の予算について質問、意見はありませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

教育指導課、北浦教育研究所の予算について質問、意見はありませんか。

(河原田委員)

10.3.2の生徒派遣費補助金とは、何をするのですか。

(田口次長兼教育指導課長)

中学校関係の生徒派遣費でありまして、中体連関係の大会派遣費です。

(安部委員長)

前に坂本委員から、音楽活動を効果的にするようなイベントがほしいなという意見が出されたことがありました。特にこの予算の中には、見つからなかったのですがいかがでしょうか。

(田口次長兼教育指導課長)

実施については、これから学校の意見を聞きながら、どのような実施ができるのかということで検討を進めて参ります。会場については、市内小中学校か市民会館を使用するので経費はゼロでございます。また、児童関係の部活動の児童を輸送するには、学校の一般管理費で貸切バス代を見込んでおります。市のバス、スクールバスで足りない場合は、貸切バスを

運用しながら移動できますので、新たな経費は発生しないということで考えて、実施に向けて努力したいと考えております。

(安部委員長)

北浦教育文化研究所の「JFA夢先生招聘事業費」について、具体的に来年はどこの学校とか決まっているとすれば、どのような範囲でどうやるかということをお教えください。

(田口次長兼教育指導課長)

そもそもこの事業は、市内小学校の5年生全員を実施する予定で進めております。最初の年度は、予算の関係で角館小学校の5年生だけが実施できませんでした。2年目の今年は、去年実施できなかった、現角館小学校の6年生と市内の5年生全員に対して開催しております。来年度は、経費のめどがつかまりましたので市内全部の5年生を対象に実施する予定でいます。ただ講師については、JFAの事務局が選任するということで、講師はまだ未決定です。

(坂本委員)

北浦教育文化研究所、「早期からの教育相談体制構築事業費」の就学支援コーディネーターとは、具体的にどういうことをする方でしょうか。

(田口次長兼教育指導課長)

就学前の教育相談体制構築事業ということで、就学時に特別支援学級の入級、特別支援学校入学等でその時になって、子どもの状況を初めて調べて動揺する保護者も多いということで、早期からこういう子どもを見つけ出して、教育相談等の対応をしながら保護者の理解を含めて、就学時の混乱がないような体制を構築したいというのが主な事業の目的であります。コーディネーターを配置して、年間を通じて幼稚園、保育園等を巡回して、気になる子どもの状況について、担任の先生のお話を聞いたり、保護者の状況を聞いたり情報を集約しまして、場合によっては保護者の対応、相談等に応じて関係機関の紹介等を保護者に対して行います。中々担任から保護者に話しづらい場合の仲を取り持つという役割を担ってもらっております。

(坂本委員)

何名ですか。

(田口次長兼教育指導課長)

1人です。

(坂本委員)

どういう方なのでしょう。何か資格とかありますか。

(田口次長兼教育指導課長)

現在は退職された、特別支援に造詣の深い元教諭です。

(安部委員長)

私からも一つ、北浦教育文化研究所の「ふるさと学習推進事業費」のふるさと仙北学の増刷は大変良いことだと思います。どれくらい増刷する予定ですか。「ふるさとカルタ」とありますがどのようなことをしようとしていますか。

(田口次長兼教育指導課長)

増刷については、200部です。「ふるさとカルタ」については、ふるさと仙北学の中に載っている仙北市全体の自然、史跡等を題材にした、カルタが作成済みでありまして、昨年か

ら予算要求をしているのですが、ふるさと仙北学の発行が優先的でした、「ふるさとカルタ」を形にしたいということで計上しました。

(佐久間委員)

①学童保育が6年生まで引き上がるという報道ですが、それについて施設の関係はどうなっていますか。②国では、地方創成補助金というのが大々的に発行されるようですが、教育委員会でその影響する部分がありますか。③英語教育はありますか。その点についての予算反映がされていないように見えますが。④予算を通じて全般的に感じることは、10周年記念と名を打っている行事がたくさん出ておりますので、「ふるさとカルタ」の件も10周年記念と名打って、記念行事の一つだということで必ず獲得してもらいたいと思います。

(田口次長兼教育指導課長)

①の放課後児童クラブについては、管轄は現在福祉事務所子育て支援課になります。ご存じの様に、来年度から子ども子育て新法案の中の子育て環境の充実という施策の中の一つとして、放課後児童クラブの拡大、これまで小3までだったものが、小6まで拡大されるという事業であります。福祉事務所と教育委員会の協議を経ながら施設拡充のための準備を進めているところです。できる限り早い段階で実施したいと思いますので、関係の予算等も子育て支援課の方で計上していると聞いています。②地方創成補助金の学校関係については、具体的な予算配分については、まだ情報が未定な部分があります。具体的にはまだですので、情報が入りしだい検討して参りたいと考えております。③英語教育についてですが、中教審の答申あるいは教育課程審議会の答申等を踏まえて、新しい学習指導要領の改訂作業に取りかかるというふうな段取りでございます。新しい学習指導要領との間隔は10年程度といわれています。現在の指導要領ができたのが、小学校が平成23年度、中学校が平成24年度でございます。教科書も4年で一部改訂ということで、小学校の教科書についても、10分の4過ぎた段階でございまして、今新しい指導要領の改訂の準備の段階でございます。中教審答申、課程審議会の協議スケジュールを短縮しまして、指導要領の改訂を早めるという情報も入っております。いずれその中で、佐久間委員がおっしゃったように、小学校での英語教育の充実ということで、小学校3年生から、今5年生、6年生は、週1時間外国語活動というのが入ってますけれども、それを小学校3年生から実施して、5年、6年生では英語を教科として実施するという動きが、中教審答申の中で出されているということでございます。学習指導要領の先取りはできませんので、移行措置という形で2年ほど前から教科の前倒しはできますけれども、まだその段階ではないと考えております。

(佐久間委員)

10周年記念は、教育委員会は各行事をいっぱい持っているのですが、来年は10周年記念と名打って大いに祝ってもらいたいという私の希望です。

(熊谷教育長)

10周年に関しては、企画の方で担当しております。私達ももちろん、委員会関係としてもかなりあります。この後、取捨選択しながらやっていかなければと思っております。

(安部委員長)

生涯学習課の予算について質問、意見はありませんか。

私からご質問をします。10.5.2の総合文化祭補助金「10周年記念事業仙北市文化

祭実行委員会補助金」と計上されていますが、これは27年度だけそうするのですか。

(成田生涯学習課長)

地区の文化祭の実行委員の人達と話した時には、10周年を記念してということでした。とりあえず1回やってみましょうということで、10周年記念事業に結び付けました。それがうまくいって、続けてやりたいという意向があれば総合文化祭になりますが、地域に戻りたいとなれば、また元に戻る可能性はあります。教育委員会としては、これを機会に一本化させていければと考えております。

(安部委員長)

私からの要望ですが、メリット、デメリットがある訳なので、関係者と十分に話合っ、納得しあった状態で急がないで決めていただきたいとお願いいたします。

もう一つ、戸沢サミットは、生涯学習課が担当ですか。

(成田生涯学習課長)

はい、担当となっています。

(安部委員長)

実行委員会の指導、助言するのが、生涯学習課ということですね。

(成田生涯学習課長)

そうです。中心となってやらなければいけないと考えております。文化財課の方からも協力をもらいたいと考えております。

(安部委員長)

ほかの市では、盛大なそうなんです。別に張り合う必要はないかもしれませんが、740,000円の補助金で盛大にできますか。

(成田生涯学習課長)

やれるだけ、やりたいと思います。

(河原田委員)

これは、いつごろやるのですか。

(熊谷教育長)

8月17日、戸沢氏祭に合わせて行います。

(安部委員長)

イベント交流館の予算について質問、意見はありませんか。

館長より、来年度の企画展の計画の話がありましたが、なるほどそのようにやるのだと思いました。先日、正式な名前は忘れてしまいましたが、歌碑の展示があつて見せてもらいました。私の不勉強なのですが、最初からこんなのがあつたかなと思いました。今後、何かのうちに、年間の催し物をこのように予定していると、市民に周知する必要があると思います。これで学習資料館・イベント交流館を終わります。

(安部委員長)

学校給食センター三つまとめて、質疑に入ります。質問はございませんか。

一質問なし

(安部委員長)

公民館関係を三つまとめて質疑に入ります。質問はございませんか。

西木公民館のタイルは、とてもクラシックで、しばらく見たことがありませんでした。これは、タイルを替えるのですか、それとも別の素材に取り替えるのですか。

(武藤西木公民館長)

製造はされているらしいのですが、1枚取り替えると隣も崩れる、結局全部だめということなので、土足対応のカーペットというか、シートというか、そういう形にしたいと考えております。

(安部委員長)

質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

市民会館、田沢湖図書館の予算質疑に入ります。質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

老朽化した施設をいかに維持するかという話に終始したように聞きます。すごいお金が掛かるなと思います。

スポーツ振興課の予算質疑に入ります。質問はございませんか。

「市町村対抗駅伝ふるさと秋田ラン！仙北市実行委員会補助金」とありますが、これの選手の選考について、あまり良く周知されていなかったのではないのでしょうか。あるいはどこかの競技団体に委託したのでしょうか。私の個人的な意見として、みんなに広く伝えて、予選会でも開いて、広く門戸は開口される状態になるのではないのでしょうか。

(田口スポーツ振興課長)

今年初めての選手の選抜に非常に苦勞しました。まず時間がありませんでした。今年度、8月の頭に小中学校は選抜会をやり、それで勝った人を選手、補欠として指名させていただきました。それ以外の社会人、一般男子、女子、壮年、高校生の男女については相談しながら、学校の先生、北浦研究所の先生に教えていただいて、了解をいただいた方々に選手、補欠なっていただきました。来年もまた同じようなやり方になるだろうと今は思っております。

(河原田委員)

「玉川河川公園管理運営費」で前回排水の不備があって、やり直したけどだめだったということで、同じような方法をとってやるということでしたが、同じことを何回もやっても変化がないように思いますが。

(田口スポーツ振興課長)

全面積に採石を敷ければ、一番排水対策としては良いでしょうが、今芝生が張られた状態ですので全面積に採石を敷くということは無理です。2年前に、排水暗渠を3分の1くらい入れましたが、概ねこれでかなり良いのではないかと、芝生を管理している方々にお話をお伺いして、そのやり方でやりました。原因を特定できれば良いのですが、野球の外野のように頻繁に使用しているとどうしても芝が痛みます。頻繁に使用しているので芝が痛んだのか、排水のせいで芝が痛んだのか非常に微妙です。ただ芝生の密度を濃くすることによって、今より遙かに良くなるのではないかとということで、そのやり方でやらしてもらいたいと考えております。

(河原田委員)

これってサッカー場の所ですよ。今、雪投げしていますよね。ああいう影響はないのでしょうか。

(田口スポーツ振興課長)

排雪がたまっている場所は、サッカー場の芝生よりも手前の方ですが、影響が排水の方に関係があるのではないかという意見もありました。サッカー場の芝生のぐるわは乾いていますが、中が汚れていますので、堆積した雪の影響はそんなに大きくはないのではないのでしょうか。

(河原田委員)

土壌改良が有効手段ということになる訳ですね。

(田口スポーツ振興課長)

採石を入れて暗渠を入れることによって、今の状態よりも多くの排水ができる環境を作ってやるのが一番だと思います。

(河原田委員)

工事期間中は、使用できないということですか。休工している間に、うまい具合当てて工事する予定ですか。

(田口スポーツ振興課長)

考えているのは、9月頃からの工事の着手で、雪が降る前にはでかしたいと考えております。ただし、その次の年の8月一杯ぐらいまでは、芝生を休ませたいと考えております。

(安部委員長)

では、次は文化財課の予算質疑に入ります。質問はございませんか。

私から、昨年度、戸沢城址の研修をしていただいて大変良かったと思っています。文化財課が新しい風といいますか、視野を与えていただき感謝しております。しかも昨年はその事業がなかったにも関わらず、無理をしてやっていただきました。今年の予算にその項目がありませんが、今年もあるのですか。

(小松文化財課長)

2行目の「文化財管理費」に、講師謝礼という形で含まれています。また引き続き、少ない予算の中でも市のバスを借り上げて、講師も史談会さんあたりから、色々検討させてもらいまして来年度もやりたいと考えております。

(安部委員長)

私の意見としては、折角好評でたくさんの人からお褒めの言葉をもらった事業ですので、今年も四苦八苦してやるよりは、最初から予算化されていた方がよりやすいと思います。シリーズ化して「文化財公開セミナー」という名前で予算化をしておけば良いと思います。

(小松文化財課長)

そのことは、課内でも検討させていただきます。

(安部委員長)

平福記念美術館予算質疑に入ります。質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、議案第32号を採決いたしますが、本案について可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

議案第32号は、提案のとおり可決することに決定いたしました。

—暫時休憩—

会議を再開します。

議案第33号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(小松文化財課長)

議案第33号仙北市文化財指定について説明をします。11月27日、仙北市教育委員会11月定例会で、議案31号で内容を審議していただきました。それを受けまして、12月22日に文化財審議委員会に諮りまして、審議していただきました。

—資料説明—

(安部委員長)

文化財審議委員会から、文化財としてふさわしいという諮問を受けたということによろしいですか。ご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

議案第33号を採決いたしますが、本案について可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

議案第33号は、提案のとおり可決することに決定いたしました。

次は、報告事項に入ります。報告第44号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(田口次長兼教育指導課長)

報告第44号区域外就学の承認について説明いたします。平成26年11月18日付けで申請のあった区域外就学について、仙北市教育委員会として承認することとしたので報告します。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第44号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第44号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

次に、報告第45号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(田口次長兼教育指導課長)

報告第45号就学指定校変更の許可について説明いたします。平成26年12月10日、11日付けで申請のあった就学指定校変更2件について、市教育委員会として変更の許可をしておりますのでご報告いたします。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました、ご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第45号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第45号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

次に、報告第46号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(畠山次長兼教育総務課長)

報告第46号仙北市教育委員会交際費の支出基準制定について説明いたします。市長の交際費につきましては、一応支出基準を設定しまして、その基準に沿って交際費を出している訳です。教育長にも交際費がありますので、支出の基準の制定をいたしました。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

—暫時休憩—

(安部委員長)

会議を再開いたします。

ほかにご質問ございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第46号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第46号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

それでは、次にいじめ、不登校対策についてお願いいたします。

(浦山北浦教育文化研究所長)

11月のいじめ、不登校の状況について、ご報告いたします。  
始めに、いじめについてです。

11月は、小学校から継続1件の報告がありました。今後も、学校と連絡を密にし、いじめ等の事案の未然防止と迅速な対応に努めて参ります。

次に、不登校の状況です。こちらは、継続の小学生2名、中学生8名と新規の中学生1名、計11名の報告がありました。今後とも、学校や家庭、関係機関と連携しながら、未然防止と組織的な対応に努めて参ります。以上、報告いたします。



(安部委員長)

いじめの1件ですが、継続ということで大変残念に思っております。学校全体として取り組んでいるということですが、言える範囲内で研究所の学校への指導とはどういうことをしているのか、あるいは全校的体制云々とは何をやっているのか教えてください。

(浦山北浦教育文化研究所長)

全校的体制の取り組みですが、一つは、いじめられた子どもから目を離さないように休み時間なども、教員達が順番制でその子の状況を把握するという体制を取っています。それから、毎日その日をみんなで振り返るということで、この学級をもっとより良い学級にするためにということで、こういう風にしましょう。こういうことは気をつけましょう。ということ、みんなで話合った項目を決めました。人が嫌がることはしないとかそういうことについて、簡単なチェックリストを全員に持たせました。それぞれ自分がされなかったか、あるいはしなかったか、そういうのを見なかったか、そういうことを毎日点検していく。市教委のかかわりといったしまして、改善の為のプログラムの作成と一緒に同席させていただきまして、作成にかかわりました。それらの説明を保護者に説明する際に、同席させていただきました。毎週学校の方から報告させておりますが、それについては、改善、取り組みについての助言指導を行っております。

(安部委員長)

もう一つ踏み込んで、色々学校として、教育委員会として手立てを講じてやっています。いじめのこともが悪いと言ってしまうかもしれませんが、そういうが続いているという現実に対して、担任はどのようにこれを受け止めているのでしょうか。

(浦山北浦教育文化研究所長)

いずれ、このプログラムの作成についても、担任にもかかわっていただいて作成しました。毎週の振り返りのカード等についても、担任を中心に子ども達と話し合いながら作成していただきました。そういう面で担任の意識も変わってきていると捉えています。

(安部委員長)

結局担任の姿勢が大事なので、そういう事件、事故が起きている時に自分はこれにどうかかわってきたのか、その辺を十分に考え直して子どもと対応していかなければならないと思います。

ほかにご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

それでは、会議録のホームページへの掲載内容についてお願いします。

(畠山次長兼教育総務課長)

資料をご覧ください。今回は10月定例会会議録のホームページ掲載案でございます。

—資料説明—

資料をご覧くださいまして、1月7日(水)までお気づきの点は、教育総務課までお知らせください。

来月の定例会は1月29日(木)午後3時からこの場所をお願いしたいと思います。

(田口スポーツ振興課長)

ワールドカップモーグルのチラシを配ってあると思いますが、選手は2月25日に入ってくる予定でございます。宿泊場所は、「駒ヶ岳グランドホテル」で、そこに皆さんに入ってもらい予定でございます。来られた選手に、乳頭温泉ツアー、武家屋敷の観光ツアーを提供したいと思っております。デュアルモーグルの種目等も生で観ると迫力がたくさん違いますので、ご近所お誘いの上、たくさんご観戦いただければと思います。

(安部委員長)

無料ですか。

(田口スポーツ振興課長)

基本的には無料です。限られたエリアで有料の部分も設けるつもりです。

(安部委員長)

ほかにありませんか。

(河原田委員)

まだ、仙北管内のインフルエンザは発生しておりませんか。

(田口次長兼教育指導課長)

ちらほらと、学級閉鎖まではいきませんが、角館小学校、だしのこ園は保育園ですが集団に発生しております。

(安部委員長)

長い間ありがとうございました。それではこれで定例会を閉会いたします。

7 閉会宣言 平成26年12月25日 午後3時45分